

児童自立援助ホームAzul
令和元年度事業結果報告書

1. 施設の概要

(1) 施設の概要

- ① 施設種別 児童自立生活援助事業
- ② 所在地 〒533-0012
大阪府大阪市東淀川区大道南一丁目12番地24号
- ③ 設置・経営主体 社会福祉法人太陽社会福祉事業協会
- ④ 定員 入所5名
- ⑤ 現員 入所3名、一時保護2名（令和2年3月31日現在）

2. 施設運営基本方針

(1) 運営方針

家族、家庭に恵まれず、児童福祉施設で生活してきた者も多く自尊感情を持っていないことから、まずは自分自身を大切に思えるような支援を第一に考え、職員の温かい和の中で安心して生活できる心地よい空間をつくり、自立に向けて気力と希望が育つように支援する。

(2) 就労支援

1年間を通しての入所者は5名。うち、正規就労者は1名。他の4名は学生であるが、全員がアルバイトにより生活費を賄っている。

(3) 教 育

1年間を通しての入所者は5名。うち、3名は学生。全日制高校（1名）、単位制高校（1名）、定時制高校（1名）に在籍しており通学も継続できている。また、令和2年度に定時制高校へ入学する者が1名ある。一時保護委託児童は2名、うち1名は全日制高校に在籍しており、1名は施設入所となり、上記のとおり令和2年度に定時制高校へ入学する。

3. 生活支援

(1) 目 的

入所児童については、自立に向けて一人暮らしができるように規則正しい日常生活と就労の継続ができるよう支援を行う。

(2) 行 事

① 誕生日会

令和元年度に誕生日を迎えたのは本入所児童の3名、一時保護児童2名であった。誕生日には本人の希望する食事会を催し、本入所者には1人1万

円以内、一時保護児童には 3000 円以内で本人が希望する品物のプレゼントを行った。

② サプライズデー

月に 1 回を目安に利用者のリクエストに応じてレクリエーションとして、いききたいところに連れて行くことを目標としていたが、学校やバイトがあり皆の休日がなかなか揃わなかった為、大多数の入所者がいるときにやれることを行う形をとった。

月日	内容	場所	参加者
5月6日	焼肉	上新庄チファジャ	利用者 4名 職員 1名
6月11日	カラオケ	ジャンボカラオケ 広場 上新庄駅前店	利用者 2名 職員 1名
8月19日	エキスポシティ・ 屋内スポーツ 焼肉	V S パーク じゅじゅ庵西中島駅前店	利用者 5名 職員 4名
8月23日	スイカ割 花火	淀川河川敷	利用者 3名 職員 3名
9月29日	カラオケ	ジャンボカラオケ 広場 上新庄駅前店	利用者 4名 職員 1名
11月24日	オリックス感謝 デー	大阪ドーム	利用者 3名 職員 1名

③ クリスマス会

利用者は皆アルバイトがあったので皆が一同に集まってお祝いすることはできず、個々に食事をする形となった。プレゼントは一人 5,000 円/人とし、自分の好きなものを購入してもらった。

④ その他行事

月日	行事	内容	参加者
4月8日	入学式	食事会	利用者 5 職員 1名
4月28日	お誕生日会	食事会	利用者 4名 職員 1名
5月5日	子供の日	柏餅、しょうぶ湯、 食事	利用者 4名 職員 1名

5月19日	お誕生日会	食事会、ケーキ	利用者 5名 職員 2名
6月23日	お誕生日会	食事会、ケーキ	利用者 5名 職員 2名
7月25日	土用の丑の日	うな井	利用者 4名 職員 1名
12月4日	お誕生日会	食事会、ケーキ	利用者 3名 職員 3名
12月21日	お誕生日会	食事会、ケーキ	利用者 5名 職員 1名
12月24日	クリスマス会	食事会、ケーキ	利用者 5名 職員 1名
12月31日	年越し	年越しそば	利用者 5名 職員 3名
1月1日	お正月	お節料理	利用者 5名 職員 1名
1月14日	成人式お祝い	食事会	利用者 5名 職員 1名
1月15日	鏡開き	ぜんざい	利用者 5名 職員 1名
2月3日	節分	豆まき	利用者 4名 職員 1名
2月16日	送別会	食事会	利用者 4名 職員 1名

(3) 金銭管理

日常の金銭について、入所当初は施設管理とするが、日常生活の様子をみながら順次、本人管理とした。また、毎月本人と職員が相談しながら自立に向けて貯金をするようにした。その貯金については施設で管理をしている。

(4) 医療

医療費については、一時保護児童は実施機関が発行する受診券にて無料となるが本入所者は自己負担となる。令和元年度本入所児童のうち2名は就労先の健康保険に加入、3名は国民健康保険に加入している。

(5) 食 事

朝食は個々の登校又は出勤時間に合わせて提供し休日は 8 時としているが遅くまで起きてこないことが多かった。

昼食については学校があるときは昼食代として 600 円を支給し、バイトや学校が休みで施設にいるときには施設から提供している。

夕食は栄養バランスを考えて月曜日から金曜日は宅配食材を利用し、土・日は利用者の希望する食事を提供し温かみのある食事作りを心がけた。

(令和元年度提供栄養量及び施設内基準)

平均年齢 18 歳・1 人 1 日の夕食分

	エネルギー (k cal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (mg)
平均提供量	1264	33	23	150
基準量	1100	32	36.7	160

(6) 生活態度

本入所児童、一時保護児童とも、大きな問題を起こすことなく過ごせている。

(7) 退所時支援

退所者 1 名に退所後の生活に必要な電化製品等の購入資金として 3 万円/人の支給を行った。

4. アフターケア

(1) 基本方針

施設を退所した児童に対して、生活に問題が起こったときには相談を持ちかけてくることができるように、日常的に連絡を取りコミュニケーションを図る。

5. 職員研修

(外部研修)

実施月日	研修内容	研修場所	出席者数
4 月 22～23 日	ホーム長研修会	名古屋市	ホーム長 1 名
7 月 26 日	自立援助ホーム近畿東海連絡会 (意見交換・発達障害の理解と就労・ 自立支援研修 含む)	大阪市 他施設 (ポ・ド ーム)	職員 1 名
7 月 29 日 8 月 1 日	対人援助専門職講座	大阪市 (大阪市 社会福祉指導	職員 1 名

		センター)	
8月26日	心をつなぐコミュニケーション 研修・上手に聴く	大阪市(大阪市 社会福祉研 修・情報センタ ー)	職員1名

6. 安全管理

(1) 防火防災

《防災訓練実施状況》

実施月日	訓練内容	参加者数
2月17日	サンシャインAzul 合同消防訓練 (夜間想定) 消防署立合い有	利用者 1名
3月16日	サンシャインAzul 合同消防訓練 (昼間想定) 消防署立合い無	Azul より 0名 サンシャイン職員 1名代 理参加

(2) 個人情報保護

個人情報保護法の適用遵守義務を受け個人情報データ、ケース記録等の管理は鍵付き書庫で特定の職員が行い、徹底した。

7. 苦情解決

(1) 基本方針

施設利用者がその苦情を公に且つ組織的に対応し、苦情内容の適切な解決に努める。

(2) 令和元年度状況

特に苦情はなしであった。